

『世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速』

	目指すべき都市像	これまでの主な取組み
観光・都市魅力	世界に誇れる 自慢の都市	○ 2025年大阪・関西万博の開催決定、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録、夢洲におけるI R誘致など大阪のビックプロジェクトを着実に推進。
	安全で安心して楽しめる 24時間おもてなし都市	○ 御堂筋オータムパーティー、大阪・光の饗宴、水都大阪フェスなど大型イベントを定期開催し、国内外に大阪ならではの魅力を発信。
	多様な人材が集う 観光・M I C E 都市	○ インバウンド客の増加を目的とした施策を展開。インバウンド受入環境整備、ナイトカルチャーの充実、府域周遊促進に向けた取組みなどを通じ、大阪を訪問・滞在したくなる仕掛けづくりを推進。
	多様な楽しみ方ができる 周遊・滞在都市	○ G 20大阪サミットの開催を通じ、大阪・関西の強みや魅力を発信するとともに、「大阪M I C E 推進委員会」を設置し、戦略的なM I C E 誘致を推進。
文化	大阪が誇る 文化力を活用した都市	○ 大阪文化芸術フェスの開催、府立上方演芸資料館の運営を通じた上方演芸の継承・発展、芸術・文化を創造し、支える人材の育成・支援に向けた取組みなどを通じ、大阪の文化を核とした都市魅力を発信。
	あらゆる人々が 文化を享受できる都市	
スポーツ	アジアをリードする 国際・プロスポーツ都市	○ 大阪マラソンやラグビーワールドカップ2019日本大会、大阪城トライアスロン、大阪国際女子マラソンなど国際的なスポーツイベントの開催等を通じ、大阪の都市魅力を国内外に発信するとともに、大阪を拠点とするトップスポーツチームとの交流などスポーツに親しむ環境づくりを推進。
	健康と生きがいを創出する スポーツに親しめる都市	
国際化	世界で活躍できる グローバル人材育成都市	○ 外国人留学生の受け入れ・定着促進を行うとともに、次代を担う生徒への英語教育の充実を図るなどグローバル人材の育成を推進。
	出会いが新しい価値を生む 多様性都市	○ 外国人相談窓口の運営や、災害時の迅速正確な情報提供を目的としたアプリの開発など安全・安心に向けた取組みを実施。 ○ 国際競争力を有するビジネス拠点を目指し、府内の企業支援、外国企業等の誘致を推進。

◆今後強化すべき取組み

- 世界第一級の文化・観光拠点の形成・発信
(百舌鳥・古市古墳群、水都大阪、万博記念公園など)
- 観光に影響を与えるリスクへの対応
 - ・欧米豪をはじめ幅広い国・地域からの集客
 - ・国内観光の推進、府域周遊の促進
- 量から質への転換
- 大阪の強みを活かした誘客促進
(エンタメ、食、歴史、文化・芸術、プロスポーツなど)
- M I C E 誘致の競争力強化
- 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成
- スポーツツーリズムの促進
- 大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の育成・活躍

◆新型コロナウイルス感染症による影響、状況の変化等

- 安全・安心の確保(受入環境整備の充実)
- 新たな生活様式に対応した都市魅力の創造・発信(AI、IoTの活用など)
- 2025年大阪・関西万博の開催、夢洲におけるI R誘致のインパクトを活用した賑わいづくり
- 「S D G s先進都市」の実現

「大阪都市魅力創造戦略2020」に基づき、さらなる都市魅力のステップアップを図り、「世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市」の実現に向けた各種プロジェクトに取り組むことで、大阪のプレゼンス向上を果たしてきたが、取組みを通じた課題も浮き彫りとなった。また、戦略2020を策定した当時の状況変化等による新たな視点に基づく施策推進が必要となっており、これらを踏まえた、新たな都市魅力創造戦略を策定する。